

【大河内小学校教育目標】
「自分で考え、自分で行動できる子」の育成
 ～ 学校、家庭、地域の力を結集させて～

【めざす子ども像】

- ◆ 確かな学力を備えている子
- ◆ 目標をもち、自分で考え、前向きに行動に移せる子
- ◆ ちがいを認め合い、なかまとともに高まる子
- ◆ 課題解決に向けて粘り強く取り組む子
- ◆ 地域を誇りに思う子

【めざす学校像】

- ◆ 子どもたちが安心して来られる、楽しく、ワクワクする学校
- ◆ 地域の教育力を活用してつくり出した“学校エネルギー”を地域に放つ学校
- ◆ 保護者や地域の誰もが笑顔を連想する、地域とともにある学校
- ◆ 職員が安心できる関係、安心感のある職員室、働きやすい学校
 (子どものこと、授業のこと等で語り合える「チーム大河内」の実現)

【めざす職員像】

- ◆ 一人ひとりの子どもを大切に、健やかな成長をサポートする職員
- ◆ 自らの専門性を高める努力を積極的に行い、時代のニーズに対応できる職員
- ◆ コンプライアンス意識を高く持ち、地域から信頼される職員

< 研究主題 >

伝え合う力を育む対話的な学びのある授業の工夫
 ～考えた道すじを自分の言葉にできる子に～

<<<主な具体的取り組み>>>

- 1 確かな学力と、目標を持ち、自分で考え、前向きに行動できる人材の育成【自立する力】
 - ① 授業改善に努める。教師自ら授業スキルの向上に積極的に努める。
 ・「楽しい授業」の創造・・・「できた!」「わかった!」が聞こえる授業。「大河内ってすごいな!」と感じる、
 地域教材の開発。子どもたちの個性(“興味関心”や“今ある力”等)を見抜く。
 ・伝え合う力、説明する力の鍛錬・・・授業の中で、文章記述の場面を頻繁に取り入れる。
 教科、特活等で発表の実践的な機会を多くつくる。
 - ② 一人一台タブレット端末を活用した効果的な授業のさらなる検証。
 - ③ 「教えるきほん」「学びのきほん」「家庭学習のてびき」「学習規律」をもとに、子ども、家庭、学校が共通理解を図り、個別最適な学習を自分で決めて進めていける子どもに。
 - ④ 自分の考えた道すじを、自分の語彙を使って伝え合う力、説明する力を鍛える。
 - ⑤ 基礎的な知識・技能の定着を図った全校取り組みの継続。「ジャンプアップテスト」の実施。
 - ⑥ 「宣長さんの教え(5つのチャレンジ)」「夢に向かって Go5チャレンジ!」の浸透と活用。
- 2 ちがいを認め合い、命を大切に、自分やなかまを大切に作る心豊かな人材の育成【共生する力】
 - ① 道徳、人権・同和教育、特別支援教育の推進。
 - ② 全教育活動を通しての人権感覚の涵養。
 - ③ たてわり班活動の見直しと充実。
- 3 体力の向上と健康教育の推進、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度の育成【創造する力】
 - ① なかまとともに高まりあう体育授業の充実。体力向上のための具体的取り組みの継続。
 - ② 挑戦、協働等の体験活動を通じた達成感と自己肯定感の涵養。
 - ③ 元気の源になる健康教育、食教育の充実。
- 4 家庭と地域と学校が協働で地域の子どもたちを育てるといった空気感の醸成【協働する力】
 - ① 地域の教材化と、コミュニティスクール、地区市民センターや住民自治協議会との連携・協働。
 - ② 地域と密着した命を守る防災教育の充実。
- 5 コンプライアンス意識の向上と働く環境の整備
 - ① 総勤務時間の縮減・・・教育の質の維持向上と働き方改革の両立。「週に1回の定時退校日」等。
 - ② 職員が安心でき、なんでも話せる安心感のある職員室、みんなにとって働きやすく楽しい学校に。

(子どものこと、授業のこと、何でも語り合えて、笑顔があふれる「チーム大河内」の実現)